

Q

交通安全対策の強化について

おおそねひであき
大曾根英明 議員



A

安心安全な交通環境の整備を推進していく

問 事故発生箇所の把握と対策について。

答 警察や消防及び地域住民などの情報や埼玉県警察のホームページの交通事故発生状況マップなどで把握している。死亡事故など重大事故の発生を把握した際は、速やかに現地に向き、事故状況を確認するほか、西入間警察署や関係課との合同による現場診断を行う。具体的な対策を検討して、事故発生箇所の安全確保に努めている。

問 信号機や横断歩道などの配備について。

答 信号機や横断歩道の配備は交通規制を伴うため、警察の管轄となることから、埼玉県公安委員会が行う。要望があった場合には、地域の総意として自治

会から要望書をいただき、市として西入間警察署に要望書を出している。

問 歩道の確保について。

答 道路交通において歩道を設置し、歩行者の安全を確保することは、重要な取組である。現在、173路線、延長約59キロメートルの整備を実施してきた。歩道用地の確保が困難な道路は、車道幅員を狭くし、路肩部分に余裕を持たせ、歩行空間の確保に努めている。



Q

金融教育の取組について

かないすみふきこ
金泉婦貴子 議員



A

発達段階に応じた学びを通して、暮らしや社会を考える機会にする

問 小・中学校における取組状況は。

出を例に予算を考えて、計画的に必要な品物を選び、お金の適切な使い方を学んでいる。中学校では、社会科で金融機関の種類や機能について学び、経済との関連を学んでいる。

問 幼児期の取組は。

答 幼児期の発達段階を踏まえ、遊びや活動の体験を通してお金

の大切さを学んでいる。

問 今、なぜ金融教育が必要なのか。

答 デジタル化の進展により、「見えないお金」を使う機会が増えている。このような時代だからこそ、金銭感覚を養い、トラブルに遭わないように、お金の役割と金融について学ぶ必要がある。

◎その他の質問

- 一 第2期鶴ヶ島市まち・ひと・しごと創生総合戦略の指標について
- 二 検討事項等について

